

# 長津田地区

長津田地区別計画推進委員会

地域

長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野、  
長津田みなみ台1～5丁目、6・7丁目の一部

緑区の最西端・最北端に位置し、南北に広い地区です。西は東京都町田市、北は青葉区、南は瀬谷区、南東は旭区に隣接しています。区内で最も広く、人口、世帯数ともに最大となっています。

近年、地区の東西を貫いている国道246号線東側、長津田みなみ台の大規模開発に伴い、大型商業施設、大規模マンション等が増加し、転入者が増加しています。また、駅北口地区市街地再開発により、都市型住宅等の整備も進められており、駅周辺に保育施設が多くあります。

### <主な関連施設>

最寄駅：長津田駅（JR横浜線・東急田園都市線・こどもの国線）

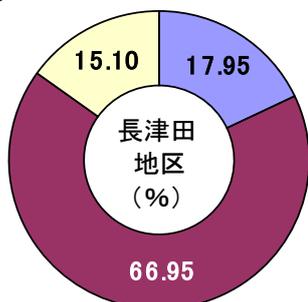
震災時避難場所（地域防災拠点）：いぶき野小学校、長津田小学校、長津田第二小学校、田奈中学校

地域ケアプラザ等：横浜市長津田地域ケアプラザ

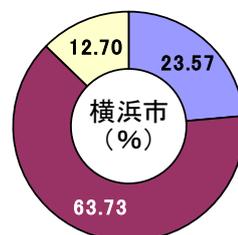
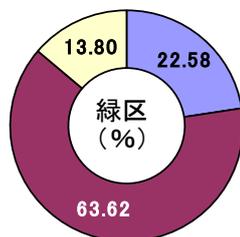
### <年齢区分別人口>

平成28年(2016年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



75歳～	3,188人
65～74歳	3,513人
15～64歳	24,990人
6～14歳	3,367人
0～5歳	2,269人
合計	37,327人

75歳～	18,912人
65～74歳	21,804人
15～64歳	114,730人
6～14歳	15,464人
0～5歳	9,425人
合計	180,335人

75歳～	417,171人
65～74歳	463,289人
15～64歳	2,380,661人
6～14歳	289,593人
0～5歳	184,639人
合計	3,735,353人

### 地区別計画推進委員会の開催状況

注) 長津田みなみ台7丁目のデータは、新治西部地区・十日市場団地地区に集計しています。

**第1回**

平成28年6月11日  
13:30～15:00

長津田スカイハイツ第2集会所

- 第3期計画について
- 活動報告
- 長津田地区別計画取り組み状況アンケートの実施について

通信No.11 発行

**第2回**

平成28年11月26日  
13:30～15:30

長津田スカイハイツ第2集会所

- 長津田地区別計画取り組み状況アンケートの結果について
- 各種報告、意見交換

通信No.12 発行



# 長津田地区



## ～向こう三軒両隣～ ともにささえあう 福祉の街 長津田 を目指して！

長津田地区では、「～向こう三軒両隣～ともにささえあう街 長津田」を合言葉に、「見守り」や「認知症」等に関する活動に取り組んできました。

### 「見守り」と「認知症」に関する取組

地域見守りネットワーク「長津田ささえあいネット」では、エリア内の介護保険事業者向けの登録説明会を行い、地域の中で見守り・支え合う体制の充実を目指しました。



(写真：「事業者向け説明会」の様子)



(写真：「住民支えあいマップ」づくりの様子)

さらに、杉山原自治会では、住民のふれあいや助け合いの実態を地元の人から聞き取り、その情報を地図で共有する「住民支えあいマップ」づくりにモデル地区として取り組み自治会役員や民生委員児童委員、地域ケアプラザのスタッフ等が参加しました。

また、認知症の予防や理解を深めるため、さまざまな場で「認知症サポーター養成講座」を実施しました。

恒例となった秋の講演会では、田奈中学校生徒会役員・認知症キャラバン・メイトによる寸劇、杉山孝博医師による講演、コンサートなどを行い、大変好評でした。



(写真：「認知症講演会」での寸劇の様子)

### 「多世代交流」と「外出促進」に関する取組

「南長津田団地集会所」が地域福祉・交流拠点として改修され、「カフェみなみ」を併設してオープンしました。

運営は大勢のボランティアにより支えられ、誰もが気軽に立ち寄れる新たな交流の場として、多くの人が訪れています。

また、平成27年度に6自治会の協力により実施した「高齢者を対象としたアンケート調査」の結果を踏まえ、「誰もが気軽に集い『顔の見えるつながり』をつくる場」や「ボランティアによる外出支援」等の検討を継続して行いました。



(写真：南長津田地域福祉・交流拠点)



認知症になっても  
安心して暮らし続けられる

ふくしのまち ながつた  
**福祉の街 長津田**

長津田地区 向こう三軒両隣 ともにささえあうまちづくり推進委員会 (長津田自治連合会/長津田地区社会福祉協議会/長津田地区民生委員児童委員協議会)

長津田地区別計画推進委員会



長津田地区別計画推進委員会  
平成28年7月発行 第3期No.1(通算No.11)

## 長津田地区別計画推進委員会通信

# 「みどりのわ・ささえ愛プラン」長津田地区別計画 長津田地区の各地域の特性を活かした取組を進めましょう！

平成28年6月11日(土)、市営長津田スカイハイツ第二集会所において、「第1回長津田地区別計画推進委員会」を開催しましたので、その内容を御紹介します。



第1回推進委員会の様子

### ◇ 第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 ◇

誰もが身近な地域で安心して暮らしていくために、身近な地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、今年から平成32年度までの第3期の計画が始まっています。

今回の推進委員会では、長津田地区で、まちの特性や課題などについて話し合いながら策定した「長津田地区別計画」に掲げた4つの目標にそって、委員からの活動報告やこれからの取組について意見を交換しました。

詳しくは裏面をご覧ください。

### 第3期(今後5年間の)長津田地区別計画の目標

- ◆目標1 地域情報の発信と共有をすすめます
- ◆目標2 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます
- ◆目標3 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます
- ◆目標4 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくりをすすめます



長津田地区社協主催

## 認知症普及啓発講演会

日時：平成28年11月19日(土)午後

会場：みどりアートパーク

内容：認知症専門医による講演会・認知症サポーター養成講座

※詳細は自治会回覧等でお知らせします！



【平成28年度長津田地区別計画推進委員】(五十音順、敬称略、○:委員長)  
秋山博昌、石森康之、井上俊之助、○井上敏正、市木智子、大瀧正春、岡部茂男、岡部豊、鴨志田守、栗山孝子、小林由美子、近藤光男、志田久男、杉崎勇治、鈴木和雄、鈴木勝、曾根秀幸、戸叶賢司、内藤保次、沼尾礼子、原田ますみ、疋田文賢、福田幹男、藤野正義、星野久美子、松方ひとみ、水野美紀子、湯浅政一、横塚實、横塚靖子、渡口博

## 取組報告

## ○ 長津田連合自治会 研修会「認知症」について

(井上敏正氏 長津田自治連合会会長)

5月29日(日)、長津田自治連合会において、認知症について話し合いたいと考え、区役所と長津田地域ケアプラザ、キャラバンメイトの協力により、わかりやすい研修会を実施し、とてもよい経験になりました。長津田は、これまでも高齢分野、認知症について、取り組んできたので、地域にもっと浸透させていきたいと思えます。

取組が点から線につながり、多くの方が加わるよう関係者と進めていきます。

※今年も、認知症普及啓発講演会を行います。ぜひ、ご参加ください。(表面参照)



研修会での寸劇  
(認知症の方への接し方)

## ○ 地域福祉・交流拠点整備事業(南長津田団地)

(栗山孝子氏 南長津田団地自治会会長)

将来像を見据えて進めてきたことが、団地の中央にある集会所をベースとした多世代交流拠点につながり、市の「地域福祉・交流拠点整備事業」により整備し、「カフェ みなみ」を併設し、5月14日にオープンしました。

ボランティアにより支えられています。ぜひ、お寄りください。



誰でも気軽に立ち寄れる

「カフェ みなみ」

## ○ 高齢者外出支援事業(平成27年度アンケート結果報告)

緑区役所は、介護予防を含めた高齢者の外出を支援する一環として、長津田地区の6自治会の協力により、高齢者を対象としたアンケート調査を実施しました(有効回答数1,122件)。外出時の支援を希望する人は、(9.4%)でした。

また、週1回以上外出していない人(4.5%)の理由は、外出する気にならない・目的がない人が3割でした。外出を支援する人を増やすこと、「つどいの場」など、外出のきっかけづくりが必要です。

## 第3期計画について意見交換

主な意見をご紹介します

## ○ 地域情報の発信と共有をすすめます

- 自治会の広報誌等を通じて地域の情報発信をしている。
- 自治会を少しでも知ってもらい、加わってもらえるとよい。

## ○ 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます

- 健康麻雀は、男女とも、いきいきと参加している。
- 参加者が増えているので、地元の自治会館等でも開催したい。
- サロンやイベントなどのボランティアが集まらず、苦労している。
- 芋煮会をやったら、子育て世代が集まってくれた。行事には、様々な年代に集まって欲しい。
- 行事は、地域ごとの特性に合わせた工夫が必要。
- 庭木の剪定など、希望者が多い手助けを、自治会を窓口、ボランティアを気軽に頼んだり、引き受けられる関係をつくれると良い。



## ○ 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます

- 「カフェ みなみ」では、交流の場ができたことで、今まで外に出てこなかった人も、出てきている。孤立していたり、認知症のある方にも来てほしい。

## ○ 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくりをすすめます

- 障がいについては、ご本人や親御さんから話を聴くなど、きちんと学ぶことから始めたほうが良い。
- 認知症のある方の見守りは難しい。周囲に隠したい人もいるので、理解者を増やしたい。身近な自治会館等でも認知症サポーター養成講座を行い、多くの人に参加できるようにしたほうが良い。



<連絡先>長津田地区別計画推進委員会事務局  
緑区地域振興課内 TEL: 930-2231





長津田地区別計画推進委員会  
平成29年1月発行 第3期 No.2 (通算No. 12)

## 長津田地区別計画推進委員会通信

### 「みどりのわ・ささえ愛プラン」長津田地区別計画 長津田地区の各地域の特性を活かした取組を進めましょう！

平成28年11月26日(土)、市営長津田スカイハイツ第二集会所において、「第2回長津田地区別計画推進委員会」を開催しました。その内容をご紹介します。



第2回推進委員会の様子

#### ◇ 第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 ◇

身近な地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、長津田地区の住民が話し合い、事業所・地域ケアプラザ・社会福祉協議会・区役所などが地域の目標として協働で取り組む「第3期の計画」が始まっています。

計画に掲げた4つの目標にそって、委員からの活動報告やこれからの取組について意見を交換しました。詳しくは裏面をご覧ください。

#### 第3期(今後5年間の)長津田地区別計画の目標

- ◆目標1 地域情報の発信と共有をすすめます
- ◆目標2 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます
- ◆目標3 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます
- ◆目標4 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくりをすすめます



平成28年11月19日(土) 長津田地区社協主催 **認知症普及啓発講演会** を実施し、210名の方が来場されました！

- 田奈中学校生徒会役員や認知症キャラバン・メイトによる寸劇
- 川崎幸クリニック・杉山孝博院長による講演
- リープル・サクソフォン・カルテットによるミニコンサート

＜参加者の感想＞

「地域の取組が理解できた」「ご近所の高齢者を見守っていきいたい」  
「認知症の本人の気持ちが分かった」「認知症予防の10か条 とてもよかった」



**【平成28年度長津田地区別計画推進委員】**(五十音順、敬称略、○:委員長)

秋山博昌、石森康之、井上俊之助、○井上敏正、市木智子、大瀧正春、岡部茂男、岡部豊、鴨志田守、栗山孝子、小林由美子、近藤光男、志田久男、杉崎勇治、鈴木和雄、鈴木勝、曾根秀幸、戸叶賢司、内藤保次、沼尾礼子、原田ますみ、疋田文賢、福田幹男、藤野正義、星野久美子、松方ひとみ、水野美紀子、湯浅政一、横塚實、横塚靖子、渡口博

## 28年度に各地区で行った特徴的な活動を報告しました

## ○ サポーターズクラブについて

(湯浅政一氏 御幸通り自治会会長)

若い世代が自治会活動に協力していただくことを目的に4月から自治会内で会員を募集。現在、会員は13名(20名を目標)。連絡方法は一斉メールを使い、現役で働くメンバーが、それぞれが都合のいい時にできる活動をしている。高齢化による自治会役員の卒業が続くため、若い世代と自治会との距離を縮めることを目標に、取組を進めていきたい。

## ○ 地域支え合いマップについて(長津田地区)

(横塚靖子氏 緑区民生委員・児童委員協議会会長)

全国的に取り組まれている「地域支え合いマップ」は、支援の必要な人とそこに関わる人「世話焼きさん」を線でつなぎ、住宅地図に記入することで、支えあいの情報を共有し、課題を探る取組。

民生委員単独で地域情報を把握することは難しいと感じており、今回のマップ作りを通じて、地域ケアプラザとの連携や自治会長・副会長との情報共有を行うことができてよかった。皆で手を取り合うことが大切。



地域支え合いマップづくり

## ○ 小中学校向け認知症サポーター養成講座について

(星野久美子氏 田奈中学校校長)

26年度から田奈中学校全生徒と一部の小学校で実施した認知症サポーター養成講座は、地区内の小中学校が連携して27年度から小4と中1が受講するようになり、28年度は森村学園も参加した。地域との交流の中で、地域課題を子供たちが考えられることが大切。



養成講座の様子

## 『担い手の確保』をテーマに意見交換しました

主な意見をご紹介します

## ☆自治会活動

- ・活動に魅力があれば、後任も自然と出てくるのではないかな。
- ・顔と顔を合わせて参加継続をお願いしている。
- ・責任が分散できるようにしていく。現役世代は「サポーター体験」から。
- ・高齢者にも簡単にできる自治会運営を！もっとシンプルな方法で！

## ☆「住んでいて良かった」と思えるまちにしていこう

- ・活動に参加することで、近所同士の顔の見える関係をつくる。
- ・地域で、世代間をミックスした疑似大家族をつくっていく。

## ☆小中学生のころからの教育

- ・今の教育カリキュラムの中で、小学生は「まちを知る」、
- ・中学生は「まちの中で自分に何ができるか」を学ばせている。
- ・今後も教育の中でコミュニティの大切さを伝えていきたい。

## ☆若い世代の参加、初めての活動

- ・若い世代が喜ぶ企画を実施、参加してもらい、「プチ成功体験」でやる気の芽を育てる。きっかけ作りが大事。
- ・若い世代がいる複数の自治会での合同行事、年一回の冒険企画に挑戦！
- ・イベントを行うことで若い人と他の世代が交流できる。

最後に、次年度は、認知症への取組に加え、障がいのある方の理解についても取り組むことが確認されました。



〈連絡先〉長津田地区別計画推進委員会事務局  
緑区地域振興課内 TEL: 930-2231